

ほけんだより 9

2023年9月1日
あおぞら保育園

まだまだ残暑が続きますが、幾分過ごしやすくなりました。暑さに負けないエネルギーな子どもたちですが、そろそろ夏の疲れが出始める頃です。ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないようにしましょう。

暦上は、秋になりますが引き続き水分補給や適宜休息をとり、体調管理に努めていきます。そして、いよいよ運動会に向けて練習がはじまります。暑い日が続く中での練習となりますので、朝食はしっかり摂っていたり、水筒も忘れずをお願いします。怪我のないように見守っていきます。

8月の感染症

- RSウイルス・・・2名
- 溶連菌感染症・・・3名
- 新型コロナウイルス・・・1名
- 胃腸炎・・・1名
- 肺炎・・・2名
- アデノウイルス・・・1名



9月の保健行事

- 5日(火) 秋の健康診断 14:30~(全園児)
※当日欠席の方は、10月の0歳児健診時に受診します。
9月の0歳児健診も兼ねています。
- 4日~8日 身体測定
- 11日(月) 保健指導「鼻のかみ方」ことり組
- 12日(火) " はな組
- 15日(金) " つぎ組

【お知らせ】

保護者の皆様には受診や症状が落ち着くまで様子を見て頂く等、ご協力をいただきましてありがとうございます。8月中旬から様々な感染症が増え始めており、羽村市内においては新型コロナウイルスや手足口病が流行しています。また、目の充血や目やにの症状があった場合は感染するものか判断がつきにくいので、眼科受診をお願いする場合がありますのでご協力をお願い致します。

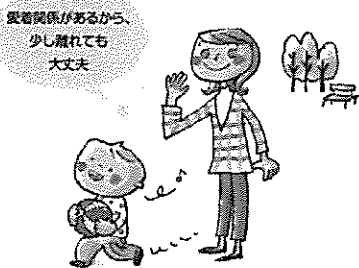
【お願い】

Tシャツに付いているスパンコールや装飾品が園内に落ちていることがあります。小さい子が口に入れることがありますので糸がほつれていたり、穴があいていないか、定期的にチェックして誤飲に注意して下さい。

甘えることって、とっても大事

アタッチメントを知っていますか？

抱っこされたり、なでられたりすると、赤ちゃんや子どもの脳内にはオキシトシンなどの幸せホルモンが湧き立ちます。その「とても心地よい状態」のときに、いつも見聞きする「やさしい声」や「笑顔」が結びついて、アタッチメント(愛着関係)が作られます。子どもはその関係をベースに、外の世界の探求を始めます。赤ちゃんの時期を卒業しても、子どもが不安そうなときは、いつでもぎゅっと抱きしめてあげてください。



子どもの力を引き出す声かけとは？

0・1・2歳児への声かけ

子どもとの愛着関係を築き、社会性や言葉を育てていくためにも、赤ちゃんのときからの声かけは大事です。子どもの思いを言葉にしていくことがとても大切です。

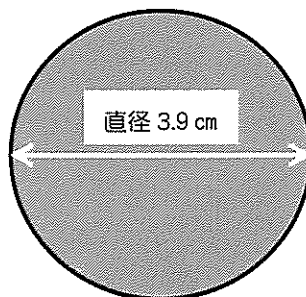
- 行動の前必ずひと言**
「はいちゃん、お着替えしようね」など、名前を呼んで、次の行動を知らせる。
- 子どもの気持ちを言葉に**
「おどろかしいね」「おどろかしいね」など、子どもの気持ちに共感して、それを言葉に。
- ポジティブな声かけを**
「ダメ」「危ない」と言われ続けると、自発的な行動ができなくなってしまうことも、「どうして」「これは、どうかな?」と、子どもに考えさせるのも大事。
- 子ども自身が考えられるように**
「こうしなさい」ではなく、「どっちがいい?」「これは、どうかな?」と、子どもに考えさせるのも大事。

防災週間 (8月30日~9月5日)

9月1日は、防災の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、お子さんにも火事や地震が起こった場合のように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。



誤飲チェック



これを参考に点検してみましょう。身近なもので簡単に手に入るトイレットペーパーの芯で確認できます。ここに通るものは全て誤飲の危険性があります。

直径 3.9 cm 以下のものは子どもの口の中に入り窒息する危険があります。歯の生え初めや舐めたりかんざりすることで物を認識しようとする6カ月頃からは、特に注意する必要があります。5歳児でも耳や鼻に玩具やお菓子を詰めたり、喉に詰まらせる事故が発生しています。東京消防庁によると過去に重症、または重篤と診断された事例では、せんべい・りんご・硬貨・洗濯用洗剤などがあります。子どもの手の届く所には置かないようにし、事故を防ぎましょう。

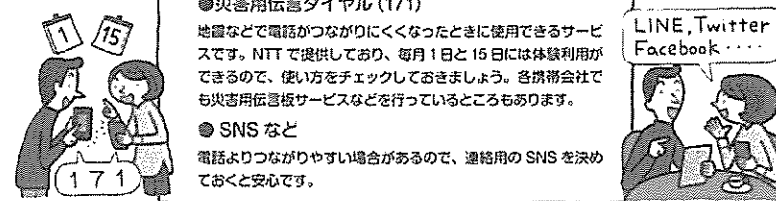
救急用品の点検を！！

- 滅菌ガーゼ
- 三角巾
- 包帯
- ばんそうこう
- 脱脂綿
- 綿棒
- はさみ
- 体温計
- とげ抜き
- ピンセット
- 熱冷ましシート
- ポリ袋
- ポケットティッシュ
- 消毒薬、外用薬品 など

ご家庭に救急箱の用意はありますか？いざというときにすぐ取り出せるよう、必要な物をそろえておくと安心です。ときどきは中身をチェックして、期限の切れた薬品の入れ替えや、よく使う物の補充などをおこなってください。

もしものときの連絡手段を確認しておきましょう

家族間の連絡手段



災害時、その地域内にある家族同士で連絡がとれなくても、遠隔地となつてしまう場合があります。遠くに住む親せきや友人の連絡先を家族で共有して、相手には非常時にメッセージを託せるよう、お願いしておくと安心です。

9月9日は救急の日 ~救急相談等のご案内~

救急の日は、「救急について関心や理解を深めよう」という日です。救急とは、急に大変なことが起こった時に救うこと。特に、急に病気になった人や、けがをした人に応急の手当をすることです。

気をつけて！

家電による事故を防ぎましょう

家電製品で思わぬケガをすることがあります。よく使うものだからこそ、子どもに「ダメ」と言わずに済むよう工夫しましょう。

- 熱くなるもの、熱気が出るもの**
炊飯器、電気ポット、電気ケトル、スチーム式加湿器 など
- 熱湯が出るもの**
電気ポット、電気ケトル、ウォーターサーバーの給湯口 など
- 子どもが入れるもの**
洗濯機
ドラム式洗濯機では子どもが入って出られなくなる事故がありました。縦型洗濯機では、のぞき込んだ子どもが落ちるおそれがあります。

- 対策①** 子どもの手の届かないところに置く。危険な家電は、子どもの手の届かない安全な場所に置きましょう。コードを引っ張って、熱くなった家電が落下する事故も多いので気をつけて。
- 対策②** チャイルドロックを活用してチャイルドロック機能があるものはぜひ活用しましょう。解除のひしと手順はありますが、「ダメ!」と言う必要がなくなります。

*ご家庭でお役立てください

キリトリ

子どもの健康相談 (小児救急相談)

東京都では、保健所や保健センターが閉庁する時間帯に、小さなお子さんの急な病気や怪我にどう対応したら良いかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師へ電話による相談ができます。

※ダイヤル回線からは、03-5285-8898

☎ #8000

- 受付時間 ◆月~金(祝日・年末年始を除く)
18時~翌朝8時
- ◆土・日・休日・年末年始
8時~翌朝8時